

**北村町内会で見事復活！
みんなが楽しむ「餅つき大会」**



1月26日(日)、北村コミュニティセンターにて、北村町内会の第1回餅つき大会が開催され、地域の子どもから高齢者まで、約40名が参加しました。

このイベントは、かつて行われていた子ども会の餅つき行事を復活させようという町内会の発案により、実現しました。

滝本龍一町内会長は「みんなに楽しんでほしい。これからも続けていきたい！」と笑顔で話していました。

参加者たちは、大きな杵で餅をつき、出来上がった餅を一緒に堪能して、地域のつながりをより一層深めていました。

**SNS上でもみんな仲良く！
河北小で上高生が授業**



1月28日(火)、上ノ国高校の生徒会が毎年実施している出前授業が河北小学校で行われ、4年生から6年生の児童が出席しました。

今回は『ネットいじめ』を授業のテーマとし、友達とみんなで仲良くSNS上でメッセージのやりとりをするために注意するべきことを5つのグループに分かれて話し合い、発表しました。

授業を受けた子どもたちは、「自分もスマホを持っていてSNSでやりとりをしているから、言葉の使い方気を付けたいと思います！」これからスマホを持つてSNSをやると思うから、今日学んだことを活かしたいです。」と感想を述べていました。

**豆まきで邪気払い！
鬼退治に挑む子どもたち**



2月3日(月)、上ノ国保育所で豆まきの集いが行われました。

子どもたちは、自作のオニのお面や帽子を被り、先生から節分のお話を聞いたあと、各教室や遊戯室で「オニは外！」「福は内！」と元気に豆まきをしました。

豆まきが終わって安心した途端に突然赤オニと青オニが現れ、子どもたちは大号泣で逃げ回ったり隠れたりしていました。みんなが勇気を振り絞ってオニたちに豆を投げつけていました。

最後には優しくなったオニたちと仲直りができ、一緒に記念撮影をして、安堵の表情を浮かべながらオニたちを見送っていました。

**町民のつながりを作り
よりよい町を向上するために**



2月7日(金)、大留地区集会施設で上ノ国高校『地学協働コンソーシアム』が開催され、約30名が参加しました。

今回は、苦小牧を拠点に会社を営みながら地域課題と向き合い、まちづくりに取り組む磯貝大地氏を講師に招き、「まちはひとでできている」と題して今までの活動や課題、次世代を担う人材の育成などについて講演しました。

また、後半には参加していた上高生が来年度の上高祭の案を提示し、保護者に限らず多くの町民が来場して楽しめる学校祭の実現に向けた意見交換会が行われ、参加者たちのアイデアやアドバイスを真剣に聞いて話を弾ませました。